



益田市のひとつづくり

ライフキャリア教育の取組

益田市では、『ひとが育ち 輝くまち 益田』を目指し、市民と行政が一体となって“ひと”を育ていくためにさまざまな取組を行なっています。

益田市が目指すのは、下記のような“ひと”の姿です。

- 将来の益田市を支えるため、自らの可能性を広げることができるひと。
- しごとを継続発展させるひと。しごとを創り出せるひと。
- 地域のひとと協力し、地域を支えるひと。地域の資源を活かせるひと。

益田市教育委員会では、“子どもを中心”に市内在住の大人や事業所の皆さんの協力を得ながら「ライフキャリア教育」を積み重ねています。「ライフキャリア教育」とは、『自分の人生を能動的に生きていくことができる力を育む』ことを目的としています。

対話を通して、多様な考え方・価値観を知る。ロールモデル[※]との出会いから、子どもたちの生き方の選択肢を広げる。ふるさと・益田の“ひと”と繋がり、ともにつくる経験を重ねる。今回はそんな想いを大切にした取組をご紹介します！

※生き方や働き方の手本となるひと

《小・中・高校生対象》

対話プラス

「これまでの人生、今の自分、そしてこれからどんな“ひと”でありたいか」

対話プラスとは、中学・高校生と益田市在住の大人、小学生と高校生が1対1で向き合い、これまでの人生や経験・考え方を語り合いながら、互いの思いや意見をじっくり聞き対話する場です。

子どもたちにとって、教科書などには載っていない、益田の大人が歩んできた人生や考え方にふれる貴重な機会であり、自分の人生を主体的に考えるきっかけとなっています。また、ほとんど初対面である大人が自分の話をしっかり聞いてくれることで安心感を得ることができ、その安心感が将来への前向きな気持ちに繋がっています。対話後のアンケートでは「将来に対して明るい希望を持っている」と回答した中高生が82%（日本平均54%）という結果が出ています。

また、参加する大人にとっては、生徒に自分の話をしたり問いかけたりすることが、自分自身を振り返るきっかけや人との関わり方を見つめ直す機会となっています。



《中学生対象》

益田版・職場体験

「益田版・職場体験」は、仕事の体験にとどまらず、生徒たちとそこで働く“ひと”や“生き方”との出会い・対話を大切にしたい取組です。

生徒たちが働く大人たちの考えや価値観にふれることで、どのような“ひと”になりたいかを考える機会になっています。

生徒からは、「楽しそうに働く大人を見て、将来あんなふうになりたいと思った」「益田で働くのもいいなと思えた」などの感想が寄せられており、仕事を知ることはもちろん、ロールモデルとの出会いもあり、貴重な体験となっています。

受入れ事業所からは、「生徒との関わりが職員の学びやコミュニケーション力向上につながった」という声が多く寄せられています。また、この職場体験に参加した生徒が数年後に、体験した事業所に就職する事例も生まれており、これまでの取組が成果として表れはじめています。



令和8年度も益田版・職場体験を実施予定です。中学生が「働く大人」と出会い、自分の未来を考えるこの取組にご協力いただける事業所を募集しています。関心のある事業所の方は右の二次元コードよりお問い合わせください。



ふるさと・ひとつなぎコーディネーター

ふるさと・ひとつなぎコーディネーターは、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を設置した学校区に配置されています。教員免許や社会教育士の称号を有する専門人材で、学校と地域、そして“ひと”と“ひと”をつなぐ役割を担っています。

学校に席があり、子どもたちの「やりたい」「やってみたい」という思いを地域のひと・もの・ことへ繋ぎ、実現するための調整・支援を行なっています。

さらに、公民館や地域住民とともに、子どもの学びの場をつくることで、学校を核とした地域づくりを推進しています。



子どもと地域の方の声から始まったベンガラ染め教室。桂平小学校でのクラブ活動と公民館のお楽しみ教室がコラボし、大人も子どもも一緒に活動を楽しみました。



西益田小学校区
山田 真子さん
出身：静岡県



桂平小学校区
岩坂 菜月さん
出身：神奈川県



豊川小学校区
小山 琴帆さん
出身：神奈川県



益田小学校区
森本 貴満さん
出身：東京都



戸田小学校区
善家 瑛徳さん
出身：愛媛県